

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童多機能型事業所 そらのいろ			
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日 ~ 令和6年12月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和6年1月6日 ~ 令和6年1月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年1月30日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所・学校・医療機関等で関わっている方々との情報共有をすることにより連携を図っている。	迅速に対応できるようにしている。 話した内容は保護者にもフィードバックしている。	事業所での利用者の姿をみてもらうため、関係者を事業所に招き連携を深めていく。
2	日々の療育が固定化されないように、個々の能力に合わせてプログラムを工夫している。	保護者にも活動内容を知ってもらうために、毎月写真付きの広報を配布している。	利用者同士で意見を出し合い、利用者主体で活動を考え決めていきたい。
3	人と関わる力を育てていくため、地域交流を通して周囲のこどもや大人と関わっていくことができる。	長期休暇を利用し、まずは近場の就労支援施設等で就労体験や地域の方とふれあうプログラムに取り組んでいる。また、市が開いている体験会等にも参加している。	自事業所主催で地域の方と交流ができる機会を考えていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流が少ない。	曜日によって利用者が変わるために。 駐車場対応等の人員・環境不足。	日々の行事などに保護者が参加できる機会を設けていく。
2	職員の専門知識を向上するための研修参加が不足している	特性理解をするため職員で話し合う時間を設けているが、答えがでない時がある。	専門分野の人を招いての研修を計画していく。